



北海道
コカ・コーラボトリング
株式会社
代表取締役社長 佐々木 康行
〒004-8588
札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
(事業内容)
●北海道を販売地域とした、
清涼飲料の製造及び販売



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に達成すべき世界共通の目標です

4 質の高い教育をみんなに	6 安全な水とトイレを世界中に
12 つくる責任 つかう責任	15 陸の豊かさも守ろう

北海道の限りある水資源と 価値ある自然を次世代へ

人と大地、そしてすべての生き物たちにとって、水は営みの根源を支える大切な恵みです。豊かな水は、北海道コカ・コーラボトリングの製品の源でもあります。かけがえのない「水」を利用してビジネスを行う企業として、北海道の水資源を守り次世代へ引き渡していくことは、私たちの責任です。

水資源保護活動の推進

コカ・コーラシステムが考える水の循環

当社は貴重な水資源を利用して事業活動を行う企業として、製品に使用した量と同等の水を自然に還元する取り組みを進めています。そのための指針に、「R」から始まる三つの軸があります。一つ目は、製造過程での水使用量の削減「リデュース (Reduce)」。二つ目は、製造過程で使用する水の循環「リサイクル (Recycle)」。そして三つ目が、地域の水源涵養「リプレニッシュ (Replenish)」です。当社が使用する水は、「製造に使用する水」と、「製品になる水」の大きく二つに分けられます。「製造に使用する水」である洗浄水や冷却水の一部は、使用量を削減したり、再利用を行い最終的に適正な処理をした上で自然に還されます。「製品になる水」は、植樹などの森づくり活動を通じて水源の涵養能力を高めることで、自然への還元を図っています。

Reduce エレクトロン・ビーム殺菌

札幌工場では2012年より、PETボトル製品の製造ラインで、エレクトロン・ビーム(電子線)によるPETボトルの殺菌を行っています。これにより従来の殺菌に比べて水の使用量を大幅に減らすことに成功しました。



エレクトロン・ビーム発生装置

Recycle ラグーン処理方式

札幌工場の排水処理には、微生物の自己浄化サイクルを活性化させて余剰汚泥の発生量を抑える「ラグーン処理方式」



を採用しています。国の排水基準を上回る自社基準を設けて、より高度な処理を実現させています。

プロジェクト」は、地元の子どもたちが楽しみながら、植樹や湧水の観察、木工クラフト体験などに参加できる人気のイベントです。また、北海道の自然を次世代へとつないでいくことを目的に、2013年、北海道大学大学院環境科学院との連携によって生まれた環境教育プログラム「山のがっこう」は、小学生から大学生を対象に北海道大学の大学院生が中心となって白旗山をフィールドに、森のろ過機能や水循環、電気伝導度や安定同位対比を用いた分析など水の科学にふれる機会を提供しています。

Replenish 水源での森づくり活動

札幌工場で使用している地下水の水源が札幌市清田区の白旗山であることから、2011年に札幌市と、環境事業に関する協定」を締結し、これに基づき白旗山の森づくりを進めています。豊富な地下水を育む水源の涵養能力を高めること、環境体験学習の場を提供することを目的に札幌市森林組合や市民団体と協働で開催している、「コカ・コーラ『森に学ぼう』



白旗山における植樹活動



環境教育プログラム「山のがっこう」

環境にやさしいボトル、北海道の天然水「いろはす」

「いろはす」は厳選された全国六カ所所で採水されており、当社がお届けするのは、札幌工場の地下約300メートルの井戸から汲み上げた、北海道の天然水。さらに、「いろはす」は環境に配慮された製品で、軽量ボトルと、原材料に一部植物由来の素材を使用したプラントボトルの効果により、石油由来樹脂の使用量の削減につながっています。また「いろはす」くだものフレバーウォーターシリーズは、2019年3月よりパッケージを一新し、より一層のくだもの感が表現され、お客様からも好評いただいております。



「いろはす」ハスカップ 555ml PET ※北海道限定
「いろはす」 555ml PET

想像以上の、
くだものっぷり!



天然水 使用

いろはす